

2022愛媛県 人事委員会勧告

国同様の勧告で若年層、勤勉手当3年ぶり引上げ 単組要求で、全世代・会計年度任用職員の改善を

■10/5 愛媛県人事委員会勧告⇒ 月例給・一時金ともには3年ぶりの引上げ！
○月例給は国勧告同様、若年層中心に引上げ ○一時金も国同様に勤勉手当0.1月改善

■月例給 民間を991円下回るため、国勧告基礎に公民較差是正に必要な率を乗じて改定。
○月例給 人事院勧告の内容（初任給3,000～4,000円、若年層の引上げを基本に改定）を基礎として、公民較差の是正に必要な率（0.51%）を国家公務員給料表に乗じて得た額に改定（平均改定率0.30%）
※令和4年4月分の較差 民間給与（A）354,378円 県職員給与（B）353,387円 較差（A-B）991円（0.28%）
■県職員も若年層人数が増加した等により、昨年比平均給与月額は減少（△1,660円）。

○県人事委員会「報告」… 公民較差解消に当たっては、…国の俸給表の各号俸の額に較差是正に必要な一定の率を乗じて水準調整を行っており、本年生じた公民較差についても、同様の方法により解消することが適当である。

■特別給 民間4.41月・公務4.30月→年間0.10月分《勤勉手当引上げ》（国勧告同様）
○一時金 [今年度] 12月勤勉手当が+0.1月。[来年度以降] 6月・12月の勤勉手当+0.05月。

(参考) 愛媛県行政職平均給与 2022年平均年間給与額 現行5,771,448円 改定後5,823,312円
増減 51,864円（+0.90%） 平均年齢 41.8歳

■県職員と民間企業との初任給比較（2022年4月現在）
※県職員初任給は県内民間企業初任給平均を下回っている。県人勧改定前の額だが、民間との格差が大幅に広がっている。
【県人事委員会データ】県職員と民間企業との初任給比較（上段2021年4月現在、下段2022年4月現在）
【大卒】民間191,086円・県職員189,643円（較差1,443円） 【高卒】民間164,542円・県職員155,674円（較差8,868円）
【大卒】民間200,190円・県職員189,643円（較差10,547円） 【高卒】民間175,103円・県職員155,674円（較差19,429円）



発行所
自治労連愛媛県本部
松山市三番町8丁目10-2
電話(089)931-7312
FAX(089)933-1699
jehime@sage.ocn.ne.jp
発行人 森賀 俊二
編集人 和氣 伸二
(組合員の個人情報は組合員の
同意なく含まれていません)

日 程

【10月】
20 いのちまもる10・20総行
動
23 憲法大運動スタート集会
(web)
27 今治市職定期大会
市職評議会定期大会・
県市長会長要請（伊予市）
28 町村評議会定期大会・
県町村会長要請（自治会館）
29 医療介護評議会定期総会
【11月】
3 保育大集会
JAL争議支援集会
5 労基法 33 条を考える～
全国交流集会（web）
6 地方自治研究愛媛県集会
(東温)
10 全国統一行動
14 全国いっせい労働相談ホッ
トライン
25 県本部拡大執行委員会
(web併用)・県市町振興
課要請
26 四国B定期総会・事前会
議（香川）
27 四国B共済学校（香川）

県人事委員会へ要請書と 署名1千筆超を提出

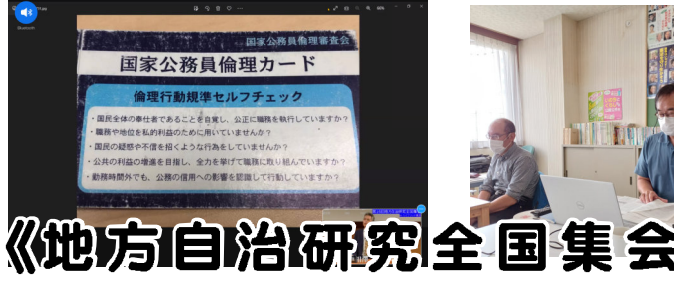
9月21日、愛媛県公務員共闘会議（県教組・県国公・自治労連）と愛媛労連は共同して、県人事委員会勧告への要請書と要請署名（団体66・個人1080筆）、定年引上げに関する要請書を提出し、要請を行いました。県公務員共闘会議側は加藤議長など3人が参加、県は給与係長など2人が対応。（文責：県公務員共闘。○公務員共闘、●県人事委員会の発言）
《給与等》●官民比較で若年層は公務が低く、高齢層は公務が高くなる傾向が10年以上みられる。民間の給与体系も給与カーブをフラットにする傾向で、民間は初任給を高く設定し人を集めている。《会計年度任用職員》○勤勉手当が上がるがどう考えるのか。●任命権者の検討事項ではあるが、近年の下げる時は期末手当、上げる時は勤勉手当について問題意識は任命権者も持たれている。昨年他の一般職員との均衡を踏まえて適切に対応をと言及した。○物価が高騰しており、それらも



踏まえて働いているものの生活を応援してもらえぬ勧告としてほしい。●休暇等で会計年度任用職員と差があることは承知しているが旧22条時代から任命権者が決めるのが基本的スタンス。○公募の問題で今年は3年に1度で切り替わりの時期。「仕事があるのか」との不安が聞かれる。継続した雇用を。雇用の安定、人材確保も重要な問題だ。《育児等》●男性育児は県も全国ワーストだったこともあったので、てこ入れし取得率は上がった。男性職員も1カ月以上育休取るよう伝え、取っている。出産予定日の2カ月前までに上司と面談し確認している。《退職手当》●今のところ下げることには聞いていない。

いのちを守り、平和を守ろう 憲法いかした地方自治体づくりを

10月1～2日、第16回地方自治研究全国集会へイブリング東京（全国自治研集会）が開催され、愛媛から9人が参加。1日は基調フォーラム「住民のいのちとくらし、平和を守るため憲法と地方自治をどう活かすか」、記念講演に相澤冬樹さん（元NHK記者）が「全体の奉仕者であり続けるために35年の記者経験から考える」と題しての講演がありました。翌2日は10の分科会に会場・オンラインで約900人が参加しました。第1分科会「地域経済の再生・地域産業の活性化と持続可能な循環型まちづくり分科会」では助言者の岡田知弘先生（京大名誉教授・自治体問題研究所前理事長）が次のように提起。○地域の経済、住民の暮らしを担うのは、地域に固着した住民・企業・産業。地域経済を維持する最大の経済主体は、中小企業・農業・協同組合、そして地方自治体。○地域が活性化するには豊かになるとは、住民ひとり一人の生活が向上すること等々、全国各地のまちづくり事例を紹介しつつ課題と教訓が語られ「11/6県自治研集会in東温」での岡田先生の講演に期待を感じられる内容でした。レポート報告では「平成の大合併は何をもたらしたのか」森賀県本部委員長が久万高原町の財政分析をもとに報告など、参加者の質疑・意見交換が行われました。第10分科会「『デジタル化、産業化』は自治体に何をもちたすか」では国内ではPFI方式を進める法改正が続けられ、公務員共済サービスの産業化、非正規化や経費の圧迫が起る一方、海外では再公営化が進んでいるなど、問題提起。現状報告では、大阪府吹田市での市民課業務委託を断念させた、労働組合として問題を明らかにし、それを住民にも伝え、組織として結束するとりくみ、東京都足立区の税務システム標準化によるシステムの不自由性や住民への不利益・費用・負担増の可能性、北九州市での市役所DXの進捗状況などの報告がありました。とりわけ分科会での「PFIは自治体の不動産の活用、デジタル化は自治体情報の活用」「デジタル化・オンライン化による窓口業務の無人化・縮小化は人員削減も含み、これまでの民間委託の延長で同じ問題をはらんでいく」の指摘は視点を改めさせられました。



11/6 県自治研(東温)に参加を 記念講演に岡田知弘先生

【西条】定期大会開催。循環型活動で賃上げ、より良い職場めざそう



西条市職労は9月28日、定期大会を開催し41人が参加。山内委員長は開会にあたり「本来定期大会は7月末日だが、今年は支所統合と重なりこの時期とした。要求・交渉・情報発信の循環型活動を基本により良い制度確立を目指したい」とあいさつ。経過報告では総合支所統

【新居浜】「青年部賃金学習会」で人勧、給与改善など学習



新居浜市職労は9月28日、入庁3年目までの組合員対象に「青年部賃金学習会」人事院勧告について2回に分けて開催。3年ぶりに俸給一時金ともに引き上げる勧告が行われ、まず『人事院勧告とは?』と題し、

【大洲】会計年度職員アンケート結果配布、大要求書作成、しゃべり場開催確認



大洲市職は9月16日、執行委員会を開催し7人が参加。回収した「ほこイカアンケート」の集約結果資料を見ながら今後の運動について協議。回答数がweb含め290通、回収率が80%を超えたことと主な分析結果について報告があり、委員長から「これからが重要で、①アンケート結果から秋季要求書づくりをど

【宇和島】当局回答をみんなまで検討 職場の声もとに改善要求確認



宇和島市職は9月14日、執行委員会を開催し6人が参加。夏季要求に対する回答内容について検討することとし、従来から保育士の処遇改善の対象者が現在では会計年度任用職員のみであり、10月の制度移行に合わせて正規保育士も対象とすることを秋季要求として確認。

【今治水道】「定年引上げ」説明会で率直な意見交換行う



今治水道労組は10月6日「定年引上げ説明会」を実施し、対象者含む11人が参加。後藤特別執行委員が、8月に2度実施した市労連と人事課との協議資料とやりとりをもとに定年引上げのポイント、①定年引上げスケジュー、②役職定年制、③定年引上げ時の給与水準7

日本の食料と農業をどうするか 現状とウクライナ危機から展望する



9月28日、愛媛県自治体問題研究所・研究例会に13人が参加。村田武先生(愛媛食健康会)が「気候変動・ウクライナ危機と日本の食料・農業」をテーマに講演。「愛媛のかんきつ・中山間地の農業をどうするか」などをテーマに、まず愛媛食健康での要請について報告。「合併前の自治体は

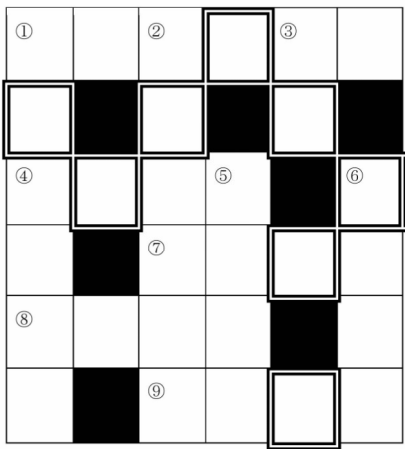
マス目を埋め、二重枠の8文字で、四字熟語・ことわざにして下さい。

【ヨコのカギ】

- ①握り飯表面に醤油やみそをぬり焼いたもの
- ④この世界と別世界。アニメで流行のテーマ
- ⑦食べ物などが傷んだこと。 ○○○ミカンの方程式
- ⑧だまっていたものを言わない。 ○○○をきめこむ
- ⑨免職・解雇のこと。合理化による○○○○

【タテのカギ】

- ①縄文時代、古墳時代の間
- ②○○○○○○のきれんがしゃっくり
- ③○○よう、む○○や、はとむ○○や
- ⑤魚を誘い寄せるために夜間、漁船でたく火。 ぎよか
- ⑥「虎杖」の読み方は



出題者 堀川孝行

■547号のパズルの答えは「ライオンキング」でした。正解は15通でした。正解者のなかから5人の方に図書カードを差し上げます。(敬称略)

西田 圭佑(西 予)
小倉さやか(新居 浜)
宮田 和幸(内 子)
前田 唯(新居 浜)
藤田 圭亮(新居 浜)

【応募方法】パズルの解答、氏名、住所、単組名を忘れずに。また、余白に紙面の感想、職場や家庭での出来事などをお書きください。正解者のなかから5人の方に図書カードを進呈いたします。

【送り先】自治労連愛媛 県本部パズル係 〒790-0003 松山市三番町8丁目10-2 (FAX、メールも可) 1面題字下に記載
【締切り】11月27日【発表】551号(12月号)

おたより ありがとう

- 朝夕涼しくなり、秋めいてきました。過ごしやす、大好きな季節です。そろそろ旅行にでも行きたいなあと、子どもたちが寝たあとにじゃーんなどのサイトをながめています。そろそろリフレッシュしたいですね。(新居浜・小倉)
- 1歳になる娘が歩けるようになりました。(新居浜・藤田)
- 当たり前にたくさん仲間と共有する時間を過ごせる日が早く来ますように！(伊予・相田)
- 生で見るミュージカルの迫力に見せられたのはもう3年前のこと。コロナが落ち着いたら(収束したら)子どもにも見せてやりたいものです。(新居浜・藤井)
- 映画館に行くこともとまどう世の中になり、終いには映画館に行くのが面倒に感じてきました。サブスクや動画サイトが便利過ぎるのがいけない。新しいものより古いもの、懐かしいものを求めるようになっていく。これが精神の衰えか。(新居浜・藤原)
- 出ました3年ぶりのプラス勧告！若年層の給与改善いいですね！私たち中高年層には少し寂しいですが、若い人たちのやりがいにつながればいいですね！(内子・曾根)
- ボーナスが待ち遠しい！(新居浜・前田)